

平成 30 年 2 月 9 日

嘉麻市長 赤間幸弘 様

株式会社久米設計九州支社
管理技術者 高崎 強



嘉麻市新庁舎建設工事入札不調に関する報告書

平成 30 年 1 月 29 日に実施された嘉麻市新庁舎建設工事の入札における入札不調の要因について、検証を行いましたので、下記のとおり報告します。

主要な要因としては、平成 29 年 11 月の設計完了時点と平成 30 年 1 月の入札時点での比較を行った結果、予見し難い下記 4 点の資材額等の高騰が工事費の上昇に影響していると推測します。

記

1 資材価格等の高騰

平成 32 年の東京五輪を控え、平成 30 年から首都圏の再開発工事はピークを迎える。生コンクリートや鋼材といった素材の平成 30 年 1 月から 3 月の価格は大口の需要増を追い風に一段と騰勢を強める見通しで、人手不足もあって資材の運搬に混乱も出始めており、ゼネコンは素材価格の上昇をのみ込みながら、今後受注する物件価格に転嫁していく方針とされている。

(日経：H29. 12. 29)

(1) コンクリート

平成 30 年 4 月出荷分からセメントの値上げが発表されている。燃料に利用する石炭が中国の減産で 25% 程度高騰。また、人手不足でトラック運賃を中心に物流費の上昇やセメントを焼成する回転窯に使う耐火レンガの価格も上昇しており、大手 3 社の値上げ方針が固まった。(日経：H29. 12. 25)

(2) 型枠

コンクリート型枠用として使う合板で、日本向け合板の最大輸出国であるマレーシアでの環境規制の強化で原木の伐採量が減少。平成 30 年 1 月から 3 月期の合板が値上がり基調となっている。(日経：H29. 12. 25)

(3) 鉄筋・鉄骨

鉄骨等の需要量は現在 4 年ぶりの高水準で推移。(国土交通省統計) 東京五輪の関連施設等の大規模建設工事とあわせて、日本橋、虎ノ門、大手町、渋谷などの都心再開発工事やマンション、ネット通販の拡大で物流倉庫の着工も目立ち、鋼材需要の増加が指摘されている。

需要の増加を追い風とし、主原料の鉄鉱石や原料炭の価格が急上昇したことを背景に製造業者が価格の引き上げに取り組み、鋼材を流通市場で取引する問屋中間価格も値上がり。H 型鋼は 13%、厚鋼版で 27% の価格が上昇している状況となっており、今後も価格は上昇基調で推移されると予測されている。(日経：H29. 12. 18)

2 設計時における資材単価と入札時点の実勢単価の比較

昨年末からの予見し難かった全国的な資材価格の変動を踏まえ、設計時と現状の資材価格の状況を調査したところ、以下の表に示すような価格の上昇が確認できた。

設計時においては、刊行物の最新号等の単価を参照し積算を行っていたが、年明け以降の全国的な資材市場の価格高騰が顕著であり、今後も資材価格が値上がり基調を示している状況を踏まえ、応札した業者が工事費を積算する際、リスクを回避するため、刊行物の単価ではなく、実勢価格をベースに積算したものと考えられる。また、鉄筋工、型枠工、左官工、塗装工等の技術労働者が不足しコスト上昇の要因となっており、国土交通省より3月から労務単価の上昇についても報道発表されていることから、工事価格の上昇につながったのではないかと考えられる。

(単位:円)

項 目		設計時	市場価格	上昇率	平均 上昇率	
コンクリート	普通コンクリート	10,500	13,000	24%	24%	
型 枠	普通型枠	基礎部	3,300	4,300	30%	30%
	普通型枠	地上部	3,500	4,600	31%	
	打放型枠	B種地上部	4,200	5,000	19%	
	型枠運搬賃	4t車	250	350	40%	
鉄 筋	異形鉄筋	SD295AD10	65,000	75,000	15%	16%
	異形鉄筋	SD295AD13	62,000	72,000	16%	
	異形鉄筋	SD295AD16	60,000	70,000	17%	
	異形鉄筋	SD345D19	63,000	73,000	16%	
	異形鉄筋	SD345D22	63,000	73,000	16%	
	異形鉄筋	SD345D25	63,000	73,000	16%	
鉄 骨	H型鋼	SS400H100×100	79,000	104,000	31%	38%
	H型鋼	SS400H200×200	78,000	104,000	33%	
	溝型鋼	SS400 100×50	80,000	115,000	43%	
	等辺山形鋼	SS400L65×65	79,000	114,000	44%	